

111号

曹青
通信

いわ

発行者 岩手県曹洞宗青年会 鈴木道将

発行所 岩曹青事務局 二戸市浄法寺町寺ノ上28
(福蔵寺内)

TEL 0195-38-2149

FAX 0195-38-2149

題字／前宗務所長 佐々木端英老師

編集／事業部

第五十五回 みちのく緑蔭禅のつどい



・直堂を務める躑躅森 大康師

令和三年七月十二日(月)、第五十五回みちのく緑蔭禅のつどいが水沢正法寺様にて開催されました。

二年ぶりの開催となった今回の緑蔭禅でしたがコロナ禍という事もあり、参禅者の受け入れはありませんでした。本来ならば研修部長として参禅者の方々が心置き無く参禅修行出来る様お世話をし、共に禅を学ぶ大切な機会となるはずでしたが、私が在任中にその機会を得る事は遂に叶いませんでした。研修部長に任じて頂いたにも関わらず、その貴重な機会が失われた事が大変心残りであります。

岩曹青会員のみで開催された本年の緑蔭禅は宿泊や法要はせず、参禅会という形で行われました。正法寺様のご配慮を頂き、法堂で坐禅をさせて頂ける事になり、参加者は一畳ごとの間隔をとり、マスクを着用等のコロナ対策を行った上での随喜となりました。

例年通りの緑蔭禅では会員それぞれが各部署での配役に就いて開催されます。今回のように、参加会員全員が一つの行持に随喜する光景は通常見られないものである為、多数の僧侶が法堂に坐る様は壮観でもありました。また、止静鐘よりも数十分も早く坐につく会員もあり、今回の緑蔭禅以外にも青年会皆で坐れる機会があっても良いのではとも考えたくなるものでした。

例年とは違う形で行われた緑蔭禅でしたが、自己の研鑽を深める事が出来た大変有意義な時間を頂いたと思います。コロナ禍で今まで通りが難しい世の中になりましたが、同じ時代を歩む青年僧侶の繋がりを大切にし、僧侶として出来る事を探すと共に、一日も早く新型コロナウイルスの脅威が終息する事を祈念し、筆を置かせて頂きたいと思います。

合掌

『コロナ禍での緑蔭禅』

研修部長 躑躅森 大康

【令和 2 年度 岩手県曹洞宗青年会事業報告】

令和 2 年

期日	内容	場所
令和 2 年 4 月 13 日	令和 2 年度 岩手県曹洞宗青年会 通常総会	於 花巻市 圓通寺様
令和 2 年 4 月 15 ～ 25 日	新型コロナウイルス対策アンケート	オンライン
令和 2 年 5 月	東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 常任幹事会	書面決議
令和 2 年 5 月	全国曹洞宗青年会評議員会 定例総会	書面決議
令和 2 年 6 月	曹青通信『いわて』109 号発行	
令和 2 年 7 月	第 55 回みちのく緑蔭禅のつどい	中止
令和 2 年 8 月 26 日	第 1 回理事代議員会	於 北上市 シティプラザ北上
令和 2 年 10 月	教区懇親会（第 2 教区）	中止
令和 2 年 11 月 11 日	第 45 回曹洞宗青年会東北地方集会「秋田大会」	オンライン法要
令和 2 年 11 月 20 日	全国曹洞宗青年会臨時評議委員会	オンライン
令和 2 年 12 月	歳末助け合い寒風托鉢並びに忘年会（第 10 教区）	中止

令和 3 年

令和 3 年 2 月 25 日	第 2 回理事代議員会 第 1 回教養セミナー 講師 正法寺山主老師	於 北上市 シティプラザ北上
令和 3 年 3 月	曹青通信『いわて』110 号発行	発行延期
令和 3 年 3 月 10 日	東日本大震災慰霊復興祈願オンライン法要	於 一関市 長泉院様 岩泉町 宗得寺様
令和 3 年 3 月 11 日	東日本大震災慰霊復興祈願法要随喜	於 釜石市 常楽寺様 山田町 龍泉寺様
令和 3 年 3 月 25 日	東日本大震災慰霊復興祈願写経納経	於 福島県 成林寺様
令和 3 年 3 月 31 日	会計監査	於 北上市 シティプラザ北上

【令和 2 年度 岩手県曹洞宗青年会決算報告書】

自：令和 2 年 4 月 1 日 / 至：令和 3 年 3 月 31 日 / 単位：円

収入の部

項目	予算額	決算額	増減▲	摘要
前年度繰越金	691,556	691,556	0	
会費	1,815,000	1,798,000	▲ 17,000	正会員・賛助会員 234 名 (各 7,000) 顧問 16 名 (各 10,000)
助成金	100,000	100,000	0	曹洞宗岩手県宗務所様より
雑収入	3,444	12	▲ 3,432	受取利子 12
合計	2,610,000	2,589,568	▲ 20,432	

支出の部

項目	課目	予算額	決算額	増減▲	摘要
事業費	事業費	830,000	448,500	▲ 381,500	教養セミナー 300,000 会員名簿作成 148,500
	広報費	350,000	207,088	▲ 142,912	曹青通信印刷送料 142,238 インターネット年間契約料 14,850 インターネット管理費 50,000
	助成金	100,000	100,000	0	イーハトーブ幼稚園助成金
	小計	1,280,000	755,588	▲ 524,412	
事務費	通信費	180,000	151,494	▲ 28,506	郵券 メール便等 振込手数料
	消耗品費	100,000	76,337	▲ 23,663	封筒代 領収書 事務用品等
	事務局費	80,000	80,000	0	事務局手当 80,000
	小計	360,000	307,831	▲ 52,169	
会議費	会議費	200,000	47,510	▲ 152,490	役員会 理事代議員会 監査 総会
	旅費	170,000	140,000	▲ 30,000	会議交通費補助 70,000 全曹青出向手当 70,000
	負担金	200,000	157,000	▲ 43,000	東北地協会費 50,000 全曹青会費 97,000 (97 名 × 1,000 円) 東北地協ストックヤード維持費 10,000
	公用費	100,000	20,000	▲ 80,000	献香料 10,000 全曹青納経料 10,000
	小計	670,000	364,510	▲ 305,490	
雑費		100,000	7,202	▲ 92,798	会費振込手数料 882 卒業者記念品送付料 5,320 イーハトーブ助成金送金用口座 開設時 1,000
予備費		200,000	0	▲ 200,000	
合計		2,610,000	1,435,131	▲ 1,174,869	

総収入 2,589,568 円－総支出 1,435,131 円＝ 1,154,437 円

次年度繰越金 1,154,437 円

岩手県曹洞宗青年会 会計 伊藤 裕磨

【令和 2 年度 岩手県曹洞宗青年会特別会計】

収入の部

単位：円

項目	決算額	摘要
繰越金	337,176	前年度より
雑収入	2	受取利子
合計	337,178	

支出の部

単位：円

項目	決算額	摘要
活動費	0	
雑費	20,000	3/11 慰霊法要献香料 常楽寺 10,000 龍泉寺 10,000
合計	20,000	

収入 337,178 円－支出 20,000 円＝ 317,176 円 317,176 円は次年度へ繰越し

【令和 2 年度 頒布係収支決算報告】

収入の部

単位：円

項目	金額	摘要
繰越金	575,413	前年度より
頒布金	127,500	回向本 1,500 円 ×85 冊
送料	6,550	
雑収入	5	受取利子
合計	709,468	

支出の部

単位：円

項目	金額	
通信費	13,810	送料
雑費	0	
備品費	1,166	梱包代
合計	14,976	

令和 2 年度 回向本残り 672 冊

総収入 709,468 円－総支出 14,976 円＝ 694,492 円 694,492 円は次年度へ繰越し

【令和 2 年度 岩手県曹洞宗青年会会計一覧】

令和 3 年 3 月 31 日現在 単位：円

	金額	
ゆうちょ銀行総合通帳	1,848,929	一般会計 1,154,437 円 令和 3 年 3 月 31 日現在 頒布係 694,492 円 令和 3 年 3 月 31 日現在
特別会計	0	預け日平成 28 年 6 月 6 日 満期振替預入済み (2,500,847 円)
	317,176	令和 3 年 3 月 31 日現在 (災害支援基金)
担保定額郵便貯金	1,463,450	預け日平成 24 年 3 月 23 日
	289,661	預け日平成 26 年 6 月 20 日
	626,271	預け日平成 27 年 3 月 24 日
緊急災害援助金	69,069	預け日平成 25 年 3 月 11 日
岩手銀行普通預金	1,000	令和 3 年 3 月 31 日現在 (イーハトーブ幼稚園送金用)
合計	4,615,556	

【監査報告】

令和 2 年度岩手県曹洞宗青年会の会計監査を実施した結果、適正に
処理されておりましたことを報告いたします。

令和 3 年 3 月 31 日

監事

西川 友法

監事

高橋 英樹

【令和3年度 岩手県曹洞宗青年会事業計画】

令和3年

期日	内容	場所
令和3年4月23日	令和3年度 岩手県曹洞宗青年会 通常総会	於 北上市 シティプラザ北上
令和3年4月26日	仏法興隆はなまつり 千僧法要	中止
令和3年5月12日	全国曹洞宗青年会評議員会 定例総会	オンライン
令和3年5月27日	東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 常任幹事会	オンライン
令和3年6月9日	第2回理事代議委員会	オンライン
令和3年6月頃	曹青通信『いわて』110号発行	
令和3年7月12日	第1回教養セミナー	於 水沢 正法寺様
令和3年7月12日	第55回みちのく緑蔭禅のつどい	於 水沢 正法寺様
令和3年9月頃	曹青通信『いわて』111号発行	
令和3年10月頃	教区懇親会	中止
令和3年11月9日	第46回曹洞宗青年会東北地方集会「岩手大会」	於 北上市 プランニュー北上
令和3年11月頃	全国曹洞宗青年会臨時評議委員会	於 東京都 宗務庁檀信徒会館
令和3年12月頃	歳末助け合い寒風托鉢	中止

令和4年

令和4年2月頃	第2回教養セミナー	
令和4年3月頃	曹青通信『いわて』112号発行	
令和4年3月下旬	会計監査	

【令和3年度 岩手県曹洞宗青年会予算】

収入の部

項目	前年度	本年度	増減▲	摘要
前年度繰越金	691,556	1,154,437	462,881	
会費	1,815,000	1,819,000	4,000	正会員 98 名 賛助会員 139 名 顧問 16 名
助成金	100,000	100,000	0	曹洞宗岩手県宗務所様より
雑収入	3,444	6,563	3,119	受取利子
合計	2,610,000	3,080,000	470,000	

支出の部

項目	課目	前年度	本年度	増減▲	摘要
事業費	事業費	830,000	1,200,000	370,000	緑蔭禅補助 250,000、寒風托鉢補助 50,000 教養セミナー 500,000、教区懇親会補助 50,000 ホームページ刷新費 350,000
	広報費	350,000	500,000	150,000	曹青通信印刷送料、緑蔭禅ポスター インターネット年間契約料
	助成金	100,000	100,000	0	イーハトーブ幼稚園助成金
	小計	1,280,000	1,800,000	520,000	
事務費	通信費	180,000	180,000	0	郵券 メール便等 振込手数料
	消耗品費	100,000	100,000	0	コピー用紙 封筒代 領収書 事務用品等
	事務局費	80,000	80,000	0	事務局手当 80,000
	小計	360,000	360,000	0	
会議費	会議費	200,000	200,000	0	役員会 理事代議員会 監査 総会
	旅費	170,000	170,000	0	会議交通費補助 100,000 全曹青出向補助 70,000
	負担金	200,000	158,000	▲ 42,000	東北地協会費 50,000 全曹青会費 98,000 (1 名 1,000 円) 東北地協ストックヤード維持費 10,000
	公用費	100,000	100,000	0	会合出席補助
	小計	670,000	628,000	▲ 42,000	
雑費		100,000	200,000	100,000	記念品等
予備費		200,000	92,000	▲ 108,000	不足課目充当
合計		2,610,000	3,080,000	470,000	

但し各項目間の流用を認める

第一回教養セミナー

令和三年七月十二日（月）、水沢 正法寺様を会場に正法寺山主 盛田正孝老師を講師として令和三年度 第一回教養セミナーが開催されました。

コロナ禍により岩曹青だけでなく県内各地での行持が中止される中で開催された今回の貴重な講義には、多くの青年僧侶が参加し、老師の一言一句を聞き逃すまいと真剣に老師の言葉に耳を澄ましました。そして老師は坐禅とは何か、どう捉えるべきかを切々と私たち青年僧侶に説いて下さいました。

老師は昨今のヨガやマインドフルネスと曹洞宗の坐禅の違いについて、ヨガやマインドフルネスは瞑想という目的を持って座るものであり、坐禅はただ六根に任せ、あるがままに坐るものであると語られました。その中で老師は分別という言葉を出され、世間一般での分別は弁えるであつたり常識があるという良い意味で用いられているが、仏教では逆に悪い意味であると話されました。

分別とは言葉や思考により主観と客観、あちらとこちらを分けるものであり、あちらとこちらを分けることにより物事があるがままに見えなくなる。自己の見解と他者の見解、どちらも交わる事のない一側面からの視点であり、その狭間に挟まれる事で固執が生まれ苦悩が生じる。その分別から脱しあるがままに物事を見る、まさに正見であります。だからこそ瞑想のような目的を持たず、頭で考えるのではなく、あるがままを感じ、ただ六根に任せ任運に従い、ただ坐る。それが大事だと老師は説かれました。そして分別を離れる無分別の智慧、その答えが一仏両祖の御教えであり只管打坐が悟りへの第一歩であると話されました。

今一度坐禅を、一仏両祖の御教えを見つめ直し威儀を正す、とても有意義な機会となりました。





東日本大震災 物故者追悼祈願法要

令和三年六月二十六日(土)、陸前高田市民文化会館屋外特設会場にて、東日本大震災物故者追悼祈願法要が厳修されました。

この法要は公益社団法人日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会と岩手県曹洞宗青年会との共同開催という形で行われました。岩手ブロック会員大会という青年会議所の運動を発信する県大会で、今回で第五十回目となる大会を陸前高田の地で迎えるにあたり、未曾有の大災害となりました東日本大震災から十年の節目に当時亡くなられた方々の追悼が出来ないかと議論を重ね、同じ青年団体である岩曹青のご協力のもと実現しました。

当日は陸前高田市仏教会の皆様にも御随喜頂き、県内各地青年会議所会員が参列の元、法要が厳修されました。コロナ渦ということもあり、最大限の対策を講じての開催となりましたが、心配されていたクラスターやコロナ感染者の報告もなく、無事に円成することが出来ました。

震災から十年、公共施設は復旧を遂げ、新たな街並みにも慣れ始め、表面的には復興が進んでいても、多くの方々の心の傷は未だ癒えておりません。それでも様々な形でのご支援ご協力に支えられながら前に進んでおります。この度の法要を通じまして、より多くの方々の力になったと信じております。

岩曹青をはじめとした、ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

一般社団法人陸前高田青年会議所 専務理事

普門寺 副住職

熊谷 晃生

第46回 曹洞宗青年会 東北地方集会『岩手大会』 令和3年11月9日(火)

記念式典 9:30

記念講演 11:00~12:30 「ブッダ祈りの道」

講師 東北福祉大学 学長 千葉 公慈 老師

※当日、岩曹青ホームページにてライブ配信
詳細はホームページをご高覧下さい。

岩曹青ホームページ

QRコード

